

令和6年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市海と森ふれあい体験館	
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人シェルフオレスト川内
	代表者	理事長 内田 征吾
	所在地	むつ市川内町477
指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	地域の海・山等の豊かな自然を活用した、地域住民の生涯学習の場及び地域を担っていく子供たちの総合学習の拠点であり、地域の伝統文化の情報発信に寄与することを目的とした施設である。設置目的を踏まえ地域の活性化を図る為、利便性を向上させる運営に取り組む。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	10,093	5,039	▲5,054
うち利用料金額	36	7	▲29
うち指定管理料	9,921	4,960	▲4,961
その他収入	136	72	▲64
支出合計 (B)	10,093	3,329	▲6,764
うち人件費	6,518	1,310	▲5,208
収支差 (A-B)	0	1,710	1,710
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	※上半期終了時は記載不要		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	指定事業	8,370	3,948	▲4,422
	自主事業	1,630	1,828	198
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無) さまざまなイベントを行い、継続的な実施が望まれているため、指定事業・自主事業ともに工夫しながら実施し、利用者数の増加に努めた。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
①親子でイルカウォッチング@むつ湾	28	0	26
②むつ川内ホタテフェスティバル	1,800	104	302
③かわうち・まりん・びーち クリーンアップ Day	中止	0	0

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	C	C
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

- (1) ③来館者と積極的にコミュニケーションを図るようにし、館内に展示している魚の特徴についての説明や、周辺の観光情報など、来館者が知りたい情報を提供できるようにしている。
- (1) ④来館者へのアンケートを日常的に実施しており、特に「トイレがきれいよかった」という声を多くいただくため、清掃作業を丁寧に行っている。
- (2) ①館内の備品が整理されていない場所があるため、整頓を行い、来館者が気持ちよく施設を利用できるように努める。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

利用者に対する接客マナー等の項目は、熱意ある館内及び周辺の見所の説明等に努めているが、公的施設を管理する意識での接客において足りない部分があるため評価をAからBとした。

利用者アンケート及び地域住民からの意見を集約して、企画立案や館の運営改善を図り、また実

績から集客にもつながっていることが確認できたことからサービス向上に関する評価をAとした。

施設の利便性については、館内及び備品の管理が運営に一部支障が出ているところがあることから評価をCとした。

取得年数が古い備品については今後の利用につながるかどうかを判断して、現状の利用に合わない場合には廃棄をするなど、備品の棚卸しを進めること。館内だけでは保管場所が足りない場合は、市との協議により館外での置き場確保などに努めること。早急に原因解消に向けて行動を起こし、施設利便性を回復すること。